

「山梨県における脊髄動静脈シャント性疾患の診療の実態」

研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2005年1月1日から2024年12月31日に山梨大学医学部附属病院脳神経外科および県立中央病院脳神経外科で脊髄動静脈シャント疾患の診断で治療を受けた方

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2026年3月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2025年6月27日

4. 研究の目的

本研究は・・・

脊髄動静脈シャント疾患は2.34人/100万人/年の発生率と報告される稀な病態です。最も頻度の高い脊髄硬膜動静脈瘻は、下肢のしびれや歩行障害で発症し、初発症状から脳神経外科以外の診療科を受診することが多いため、迅速な診断が難しく、治療介入が遅れるケースが多いのが現状です。山梨県内では、本疾患の治療を行っている施設が大学病院および県立中央病院に限られています。本研究では、過去20年間にこれらの施設で診断・治療された脊髄動静脈シャント疾患について、診断の過程や治療成績を調査し、診療の実態と課題を明らかにすることを目的とします。

5. 研究の方法

本研究では、診療記録等を用いて以下の事項について検証を行っていきます。

1. 初診時の症状、初診時に受診した診療科および医療機関、発症から治療介入までの期間
2. 治療選択（外科治療、血管内塞栓、または両者の併用）
3. 治療半年後の機能評価：
歩行、排尿機能（Aminoff-Logure グレード）、modified Rankin Scale(mRS)

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療録情報、検査データ

試料：用いません。

※この研究に必要な臨床情報については、全て通常の診療の中で取得したものになります。そのため、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

7. 外部への試料・情報の提供

山梨県立中央病院の患者さんの情報については、山梨県立中央病院脳神経外科の部長・中野 真が個人を識別できる情報を削除し加工した上で、パスワード設定したファイルをメールにて山梨大学に提供

されます。

8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学 脳神経外科講座 講師 舘岡 達

【既存試料・情報の提供のみを行う者】

山梨県立中央病院 脳神経外科 部長 中野 真

9. 試料・情報の管理について責任を有する者

国立大学法人山梨大学

10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

11. 利益相反について

この研究は、山梨大学で管理されている研究費を用いて実施いたします。この研究のために、企業等からの資金提供はありません。この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

所属・氏名：山梨大学医学部 脳神経外科講座 講師 舘岡 達

住所：〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

メールアドレス：ttateoka@yamanashi.ac.jp

FAX：055-274-2468